

事務事業 No./名称	□サービス部門 市民-26 市境界整備事業 ■支援部門						
主管課	市民課(総務課)		関連課				
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	市境界の整備を促進する (市境界整備率90%)						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	471	380	397			
	(国・県)						
	(負担金等)	189	190	198			
	(一般財源)	282	190	199			
	人員配置数	0.8	0.5	0.5			
	人件費(千円)	6,874	4,519	4,583			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	7,345	4,899	4,980			
	市民1人当りの経費(円)	41	28	28			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
市境界整備率	○	目標値	90%	90%	90%	90%	90%
		実績値	83%	84%	84%		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
市境界整備事業	471千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	現地における隣接市との市境界を確定した。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	横浜市及び藤沢市との市境界については、共同事業により、90%以上が確定しているが、逗子市との市境界は約38%しか確定していないため、逗子市と協働して計画的に共同事業を実施していく必要がある。
課題解決のための取組	逗子市とは計画的に共同事業の形で市境界確認事業を進める。
未解決の課題	地権者の了解を得られない未確定箇所については、了解が得られるまで市境界の確定が出来ない。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		横浜市境界、藤沢市境界については、地権者等からの申請により対応し、逗子市との共同事業は継続する。	↓ B 課長等名 課長(代理) 鶴見 俊之

